

進む少子化、複式学級、教育環境低下……

# 統合小学校を考える

小学校の児童数が年々減少している八峰町では、より良い教育環境を確保するため、八森・観海・岩館の3小学校の統合や岩子小が水沢小へ編入する小学校再編計画を進めています。児童数の推移や統合へ向けての計画や、今後の課題などをみなさんにお知らせします。



昭和51年、塙川小学校の授業風景



現在の岩子小学校(5・6年生)

## 八森地区は3小学校統合

平成21年春から開校

八森地区では平成15年から1学年の児童数を一定水準維持し、複式学級を解消するなど教育環境の向上を目指し、八森町小学校再編計画を立案。八森・観海・岩館の3小学校を統合する計画を進めてきました。町教育委員会は、住民に対し児童数の現状と将来の推計から統合の必要性について説明会を開催したところ、住民からは反対意見がほとんど無かったため統合に向けて本格的に動き出すことになりました。再編計画をもとに統合を進めていく中で、建設地については現在の観海小学校を大規模改修することで、地域住民や保護者へ説明。議会で一定の理解を得ることができました。平成19年度に

観海小学校の大規模改修の設計を作成。平成20年度に改修工事を行い、平成21年春の開校を目指します。

岩子小は水沢小へ編入  
保護者や地域住民への懇談会を開催

岩子小学校は明治10年に創立。平成19年度で創立130周年を迎える伝統ある小学校です。しかし、現在の岩子小学校の全校児童は12人。この春には、2・4年生が飛び級複式学級、5・6年生が複式学級の2学級での授業となります。5年後の平成23年には全校生徒が5人となる見込みです。そこで、町の教育委員会では地域住民の意見を聞くこと2回にわたって岩子地区の懇談会を開催しました。1月29日、岩子生活改善センターで行われた2回目の懇談

八峰町では、少子化に伴う児童数の急激な減少により、平成18年度現在岩館小学校と岩子小学校の2校が複式学級を採用しています。児童数の推移では10年前が635人、5年前が505人、現在は423人と



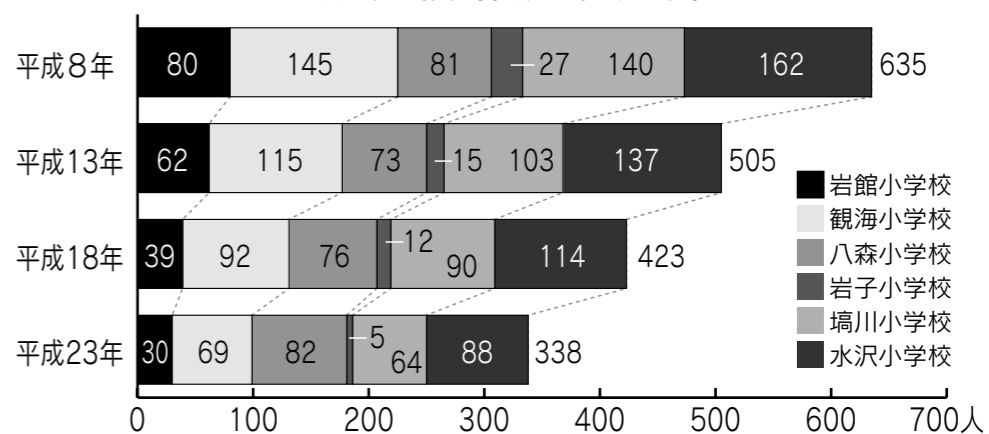
校舎火災によりプレハブでの授業風景(昭和47年八森小)

会では、昨年の懇談会で「水沢小学校との統合が望ましい」「児童のためを考えるとなるべく早期に統合したい」という意見があったこと、水沢小学校の校舎を改修することなく編入できることなどから「平成20年4月から水沢小学校に統合」とする案を住民に説明しました。

この日は、住民から統合反対の意見は無く、「スクールバスなどで通学の安全確保を」「体操着を統一して、その購入費を補助してほしい」などの意見が出されました。

教育委員会では、今後、水沢小学校の保護者らを対象にした説明会を開催する予定です。

児童数の推移(平成23年は見込数)



年々減少傾向にあり5年後の推計では、現在の就学前の子どもたちが全員町内の小学校に入学すると仮定した場合、338人となります。この状況を受けて町教育委員会では、児童の教育環境の向上のため町内の小学校統合に向けての計画を進めています。

## 統合に向けて今後の課題

小学校統合に向けて、これから本格的に動き出していきますが、課題は残っています。それは、それぞれの学校で伝統的に取り組んでいたことや、特色などを統合後どのように受け継いでいくのか、残った校舎の活用方法、スクールバスの運行方法、学校名や校歌校章の制定などです。こどもたちや地域住民の意向を反映した、特色ある学校・地域づくりが必要です。

